

～ ここにも活かせるエルメス技術 ～



ボーリングの孔曲がりにおける 埋設型傾斜計(MC-300B)を用いたモニタリング

Electronic
Measurement

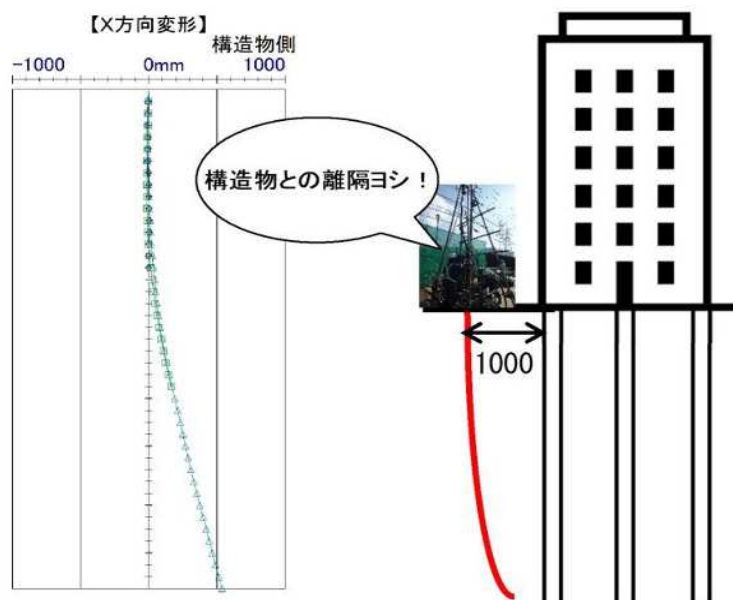
山岳トンネル／地下構造	シールドトンネル	○ 地盤／山留め	基礎／ケーソン
○ 近接施工	斜面防災	コンクリート構造	ダム・メンテナンス
鉄道関連	道路関連	橋梁関連	エネルギー関連

◆ 概要

重要構造物等に近接したボーリング工においては、ボーリング孔と構造物との間に所定のクリアランスを確保することが必要となります。ボーリング孔の孔曲がりを計測しながら削孔することによって、孔先端の位置を把握することが可能となります。

◆ 特徴

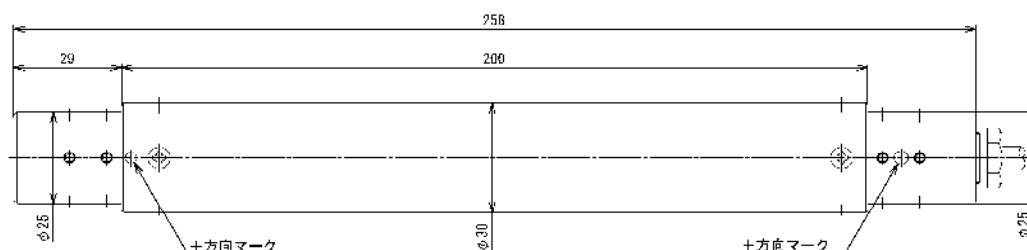
ボーリングロッドに埋設型傾斜計(MC-300B)を備えた金具を接続して、エルコーダで1m毎に測定します。測定したデータはノートパソコン等で即時に演算処理してボーリングの先端の位置を確認します。下図はその状況を示したものです。演算処理の結果、ボーリングの先端部分はビルの基礎杭に500mm程度近づいていることを表しています。



・ ボーリングロッドに接続



・ 測定状況



外観図(図面)

お問い合わせ



東横エルメス 計測技術部

TEL (03) 5829-6088

東横エルメス 営業部

TEL (03) 5829-6088